

事業番号	15 01 02	事業改善シート（令和7年度実施事業分）	□当初要求	□当初予算案	■補正予算案	□点検
事業名	ICT環境整備事業費	部局	教育委員会事務局	課・室	教育政策課	

1 現状と課題

生徒1人1台タブレット端末や電子黒板の整備等が進み、ICTを活用した教育環境が整う中、教職員のICT活用の底上げが進むところではあるが、教職員個人の技量に頼る部分があるため、持続可能な教育活動（教育内容）に繋がらないことがある。

2 事業目的

生徒1人1台タブレット端末を有効活用し、教育のICT化を加速させるため、教職員のICT活用力を向上させるとともに、個別最適な学び、協働的な学びを取り入れた探究的な学習スタイルによる授業を展開し、生徒の「問題発見・解決能力」「情報活用能力」を育成する。

3 事業目的を達成するための取組

①教職員のICT活用促進や環境整備

・教育情報化推進のためのICT基盤整備事業及びGIGAスクール運営支援センター配置事業について、事業見込みが当初を下回ったことにより減額

・小中学校の1人1台端末の計画的な更新を進めるための市町村向け補助について、事業見込みが当初を下回ったことにより減額
※その他の事業は当初予算のとおり

4 成果指標

(推移の凡例 ↗: 改善 ↘: 悪化 →: 変化なし —: 数値なし)

No.	指標名	単位	R4年度		R5年度		R6年度		R7年度 目標値	達成 状況	目標値設定理由
			実績	実績	推移	実績	推移				
①-1	クラウドによる意見交換ができる学校の割合	%	76.5	77.0	↗	79.0	↗	85	↙	「クラウドによる意見交換ができる学校の割合」を高めるため、令和9年度の目標を90%とし、令和7年度は85%を目標として設定	
①-2	ICTを使って授業ができる教員の割合	%	90.0	91.6	↗	93.8	↗	96	↙	「ICTを使って授業ができる教員の割合」を高めるため、令和9年度の目標を100%とし、令和6年度は96%を目標として設定	

5 本事業が貢献する総合5か年計画の施策分野と達成目標

No.	施策分野（施策の総合的展開名）	達成目標 (☆印が付いているものは主要目標)	単位	直近3か年の状況						目標	
				年/年度	数値	年/年度	数値	年/年度	数値	年/年度	数値
5-1①	一人ひとりが自分にとっての幸せを実現できる学びの推進	学校の教育活動全般に対する生徒(高校生)の満足度	%	2022 (R4)	85.3	2023 (R5)	84.4	2024 (R6)	85.2	2027 (R9)	84.3
5-2①	一人の子どもも取り残されない「多様性を包み込む」学びの環境の創出	☆「授業は、自分にあった教え方、教材、学習時間になっていた」と答える児童生徒(小6、中3)の割合	%	2022 (R4)	81.1	2023 (R5)	84.2	2024 (R6)	81.9	2027 (R9)	81.1

6 事業コスト

(単位: 千円、人)

区分	予算額					合計 (予算現額)	うち一般財源	決算額	職員数
	前年度繰越	当初予算	補正予算等	うち今回補正額					
R7年度	0	4,399,151	△ 584,211	△ 584,211		3,814,940	483,395		7.0
R6年度	0	845,386	△ 235,555			609,831	434,646	585,553	7.0
R5年度	0	501,589	188			501,777	479,191	493,099	7.0

事業番号	15 01 02	細事業一覧（令和7年度実施事業分）	<input type="checkbox"/> 当初要求	<input type="checkbox"/> 当初予算案	■補正予算案	<input type="checkbox"/> 点検
事業名	ICT環境整備事業費	部局	教育委員会事務局	課・室	教育政策課	

細事業No.	細事業名	R5年度予算現額	R6年度予算現額	R7年度予算
1	探究学習のためのICT機器整備事業費	126,815 千円	49,997 千円	予算現額 うち今回 補正額 329,909 △ 34,211 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和7年度実施内容（予定）（上段：事業概要、下段：活動によるアウトプット）	
1	教育情報化推進のためのICT基盤整備事業	直接	県立高校において、生徒1人1台タブレット端末や電子黒板等を活用するため、校内無線LAN機器や電子黒板等の修繕、消耗品交換、リース等を実施 ※事業見込みが当初を下回ったため、今回補正で減額を行う。 県立高校82校の授業用ICT機器の修繕、電子黒板の更新	
2	県立中学ICT環境整備事業 (生徒用1人1台端末整備)	直接	県立中学校において令和元年度に整備された、1人1台端末の計画的な更新を行う。 生徒用端末168台の更改	
3	GIGAスクール運営支援センター配置事業	委託	1人1台端末環境による本格的な教育活動の円滑な運用を支えるため、ICT研修等の業務を民間事業者に委託する。 ※事業見込みが当初を下回ったため、今回補正で減額を行う。 専門的な知見を有する事業者に通年で委託	

細事業No.	細事業名	R5年度予算現額	R6年度予算現額	R7年度予算
2	高等学校普通科コンピュータ教室整備事業費	122,616 千円	120,383 千円	予算現額 うち今回 補正額 116,874 0 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和7年度実施内容（予定）（上段：事業概要、下段：活動によるアウトプット）	
1	高等学校普通科コンピュータ教室整備事業費	直接	県立高校の普通科及び総合学科設置65校のパソコン教室にPC及び周辺機器を整備する。 県立高校65校に3,063台のPC及び周辺機器を整備（リース）	

細事業No.	細事業名	R5年度予算現額	R6年度予算現額	R7年度予算
3	情報通信技術（ICT）を活用した確かな学力育成事業	182,650 千円	209,515 千円	予算現額 うち今回 補正額 235,275 0 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和7年度実施内容（予定）（上段：事業概要、下段：活動によるアウトプット）	
1	情報通信技術（ICT）を活用した確かな学力育成事業	直接 委託	県立高校及び中学において、教員の校務と普通科教室における学習用の情報システム基盤整備を行うとともに、教員の情報システムリテラシー向上のため、情報セキュリティに関する専門員を配置 教員・生徒で共有するクラウド環境のセキュリティ強化	

細事業No.	細事業名	R5年度予算現額	R6年度予算現額	R7年度予算
4	統合型校務支援システム導入事業	69,696 千円	69,696 千円	予算現額 うち今回 補正額 69,696 0 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和7年度実施内容（予定）（上段：事業概要、下段：活動によるアウトプット）	
1	統合型校務支援システム導入事業	直接	高大接続改革に対応するとともに、教員の業務の効率化・軽減を図るため、全県立高等学校に統合型校務支援システムを運用する。 校務支援システム使用81校	

細事業 No.	細事業名	R5年度 予算現額	R6年度 予算現額	R7年度 予算
5	G I G A基金1人1台端末整備事業	— 千円	160,240 千円	予算現額 うち今回 補正額 3,063,186 △ 550,000 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和7年度実施内容（予定）（上段：事業概要、下段：活動によるアウトプット）	
1	G I G A基金1人1台端末整備事業	直接 委託 補助金	<p>令和元年度に整備された小中義務教育学校における1人1台端末の計画的な更新を進めるため、端末の更新整備を行う市町村向けの補助を実施する。また、事業を円滑に実施するための共同調達会議運営等を行う。</p> <p><u>※事業見込みが当初を下回ったため、今回補正で減額を行う。</u></p> <p>県内市町村計：95,209台、共同調達会議等の開催</p>	